

PRESENCE 2040 VISION

介護の未来を変える挑戦

— 今西和晃の2040フィジカルAI構想 —

人を育て、仕組みをつくり、介護施設の未来を変える。



序章 2040年、介護の現場で何が起こるのか





経歴（資料より） 実績

1998	香港でセキュリティ事業のDirectorに就任
2006	豪州でFTA・EPA関連事業を開始
2011	AI開発事業へ
2014	株式会社プレゼンス・メディカルを創業

出典：資料p1（公式「創業の想い」略歴）。※回想場面の情景はイメージです



2014年2月。今西は
株式会社プレゼンス・メディカルを創業した。



医療的ケアを必要とする方を
支える介護職員を育てる。



そして、看護師と連携して
働ける環境をつくる。



人に優しくなれる社会を実現する。

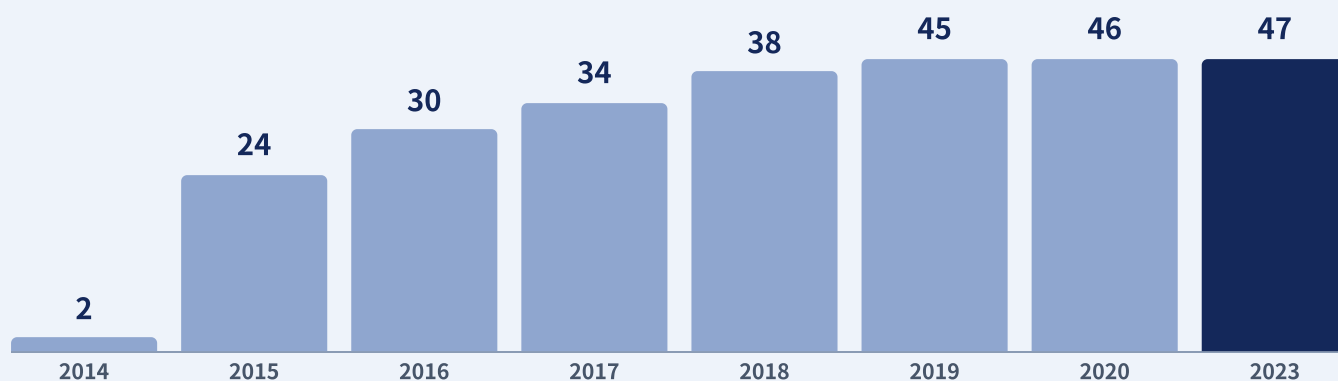
2014年の創業から、一貫して目指すもの（資料p1）





登録研修機関の都道府県数（累計）

実績



公式サイトでの都道府県別登録年月日を年ごとに集計（資料p2）。2014年2月創業／2020年5月オンライン研修開始／2023年に47都道府県へ



取引施設数の拡大 実績

2021年
3,000 施設突破



2025年
12,500 施設

当社事業資料の各年記載値。2025年値は公式会社概要でも掲載（「12,500施設以上」2025年9月現在）

数字で見るプレゼンス・メディカル（2025年9月現在） 実績

4,200
取引法人 以上

22,000
受講者 以上

48
研修開催回／年（毎週開催）

出典：公式会社概要（資料p2）

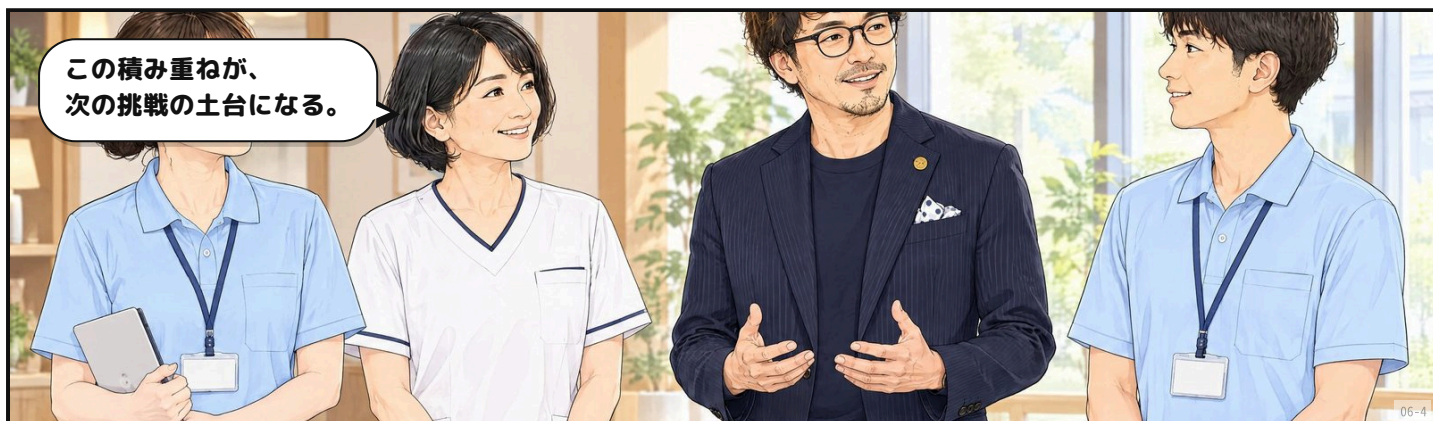
教育と実地研修のネットワーク 実績

180名 登録看護師

WEB講師83名・医療的ケア講師47名・演習講師50名（2025年9月現在）

218 契約病院

当社提供値（2026年9月）。公式の「提携先220」とは集計表記・時点が異なります





課題は、つながっている

医療的ケア

担える人を育てる

役割分担

看護師と介護職

業務負担

記録・転記・集計

施設経営

利用状況・加算

資料p3：「その力を施設で活かすには、役割分担や業務負担、経営の状態まで整える必要があります」



※この場面は、資料p3に記された課題を説明するためのイメージです。


IMPACT CROSS 医療的ケア × 経営の可視化 × AIによる業務改善

開発中・構想

01

医療的ケアの体制を整える

喀痰吸引等研修・実地研修先の紹介を軸に職員育成を支援。看護師と介護士の役割を整理

02

経営の数字から優先課題を見つける

利用状況・紹介元・収益・加算の状況をグラフと表で確認し、改善点を絞り込む

03

AI-BPRで仕事の進め方を変える

業務・頻度・所要時間を洗い出し、重複や転記を見直す。文書作成支援・集計・通知の自動化

資料p3。※提供機能・連携範囲は契約と開発状況により異なります。加算要件は個別確認



単なるシステム導入ではなく、施設経営と現場業務を同時に改善する構想

BEFORE



紙・メール・転記・集計——間接業務が、ケアの時間を圧迫する

AFTER（イメージ）



AIが文書作成・集計・通知を支援し、人がケアに向き合う（想定するイメージ）

AI-BPRの進め方 開発中・構想

STEP1

業務を洗い出す
工数と負担を把握

STEP2

改善を実装する
AIと業務手順を整備

STEP3

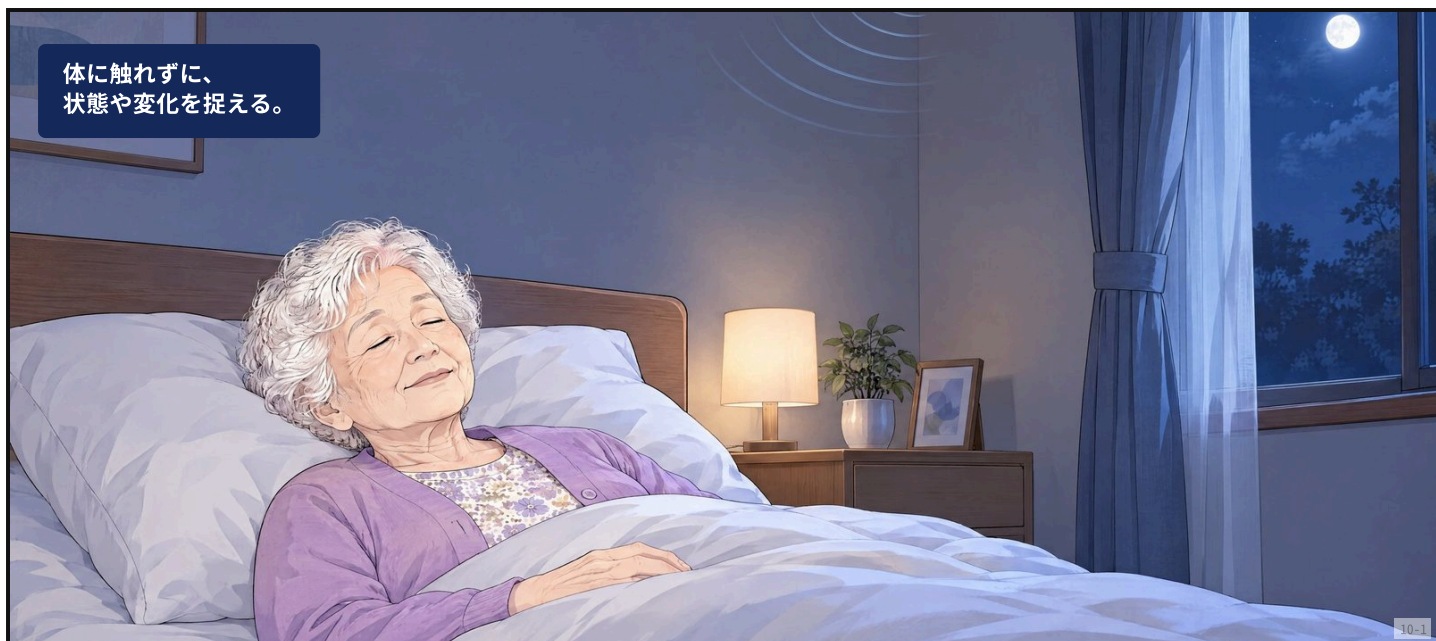
効果確かめる
削減時間と定着を評価



AIは人の代わりではない。
人が本来のケアに
向き合うための仕組みだ。

— 今西和晃（脚色）

体に触れずに、
状態や変化を捉える。



なっちゃんAI 介護と医療の「共通言語」をつくるAI 開発中・構想

1

状態を捉える
非接触センシング

2

変化を理解する
AIが情報を整理

3

伝わる言葉にする
介護・医療の情報共有

独自の非接触センシング技術とAIを組み合わせ、利用者の状態や変化を捉え、介護と医療それぞれが理解できる言葉へ翻訳するAIアプリを目指します。

資料p4。※なっちゃんAIは開発・事業構想であり、完成済みの製品ではありません

介護と医療で、
同じ情報を
同じ言葉で共有できる。





なっちゃんOS 施設全体を「ひとつの知能」として動かす統合OS 開発中・構想

AI・センシング／介護記録・医療情報／見守り機器・各種システム

▼情報集約

なっちゃんOS：統合・理解・連携・制御

▼協調運用

人

確認・判断・ケア

AI

整理・提案・業務支援

機器

検知・通知・作業

資料p4。※開発中の構想。実装範囲は安全性・情報管理・機器連携の検証を踏まえて決定。関連技術は特許出願中（特願2026-211951）、AIの回答の妥当性を別のAIで検証する仕組みを開発中





PRESENCE STANDARD 4つの段階 将来構想

01 EDUCATION

人を育てる

喀痰吸引等研修・実地研修

実績

02 INTEGRATION
経営と業務を整える
IMPACT CROSS / AI-BPR

開発中・構想

03 PHYSICAL AI
施設を智能化する

なっちゃんAI / なっちゃんOS

開発中・構想

04 STANDARD

再現可能な型にする

他施設へ展開できる標準モデル

将来構想

資料p5。※PRESENCE STANDARDは将来構想。提供範囲・実装方法は開発・検証および各施設の状況に応じて設計





13-1



2040年に目指す施設のイメージ（構想段階）

直営1号施設構想 PRESENCE STANDARDの実証拠点

将来構想

建築

住みたくなる
居住空間

Physical AI

建築段階から
AI前提で設計

なっちゃんOS

施設全体の
情報を統合

医療・介護

一体設計と
知見の標準化

オペレーション

人材・教育・接遇
・業務まで設計

資料p6。※施設開発・運営・提供形態は構想段階。法令、許認可、安全性、事業性の検証を踏まえて設計。既に実現した施設ではありません

直営で証明し、標準化し、パートナーと広げる 将来構想

01

直営1号施設
完成形を実証

02

標準化
建物・AI・運営を型化

03

FC／共同展開
地域事業者と実装

04

全国ネットワーク
同じ品質を再現

資料p7。※FC・共同事業等の展開方式は、今後の事業設計、法令・許認可・投資スキームの検証を踏まえて決定





市場参入モデル（長期構想） 将来構想



輸出するのは、施設をつくる「標準」 将来構想



背景：中国は2028年末までに、長期介護保険制度の全国的な基本カバーを目指している（2026年3月 中国共産党中央弁公庁・国務院弁公庁「長期介護保険制度の構築を加速することに関する意見」）。

資料p8／新華社 2026年3月25日。※中国での制度・市場参入、JV、ライセンス、FC等は構想段階です。現地への進出や提携は完了していません。現地法令・外資規制・許認可・データ規制等の確認を前提とします



ENTREPRENEUR AS A SERVICE

AIは「手段」。

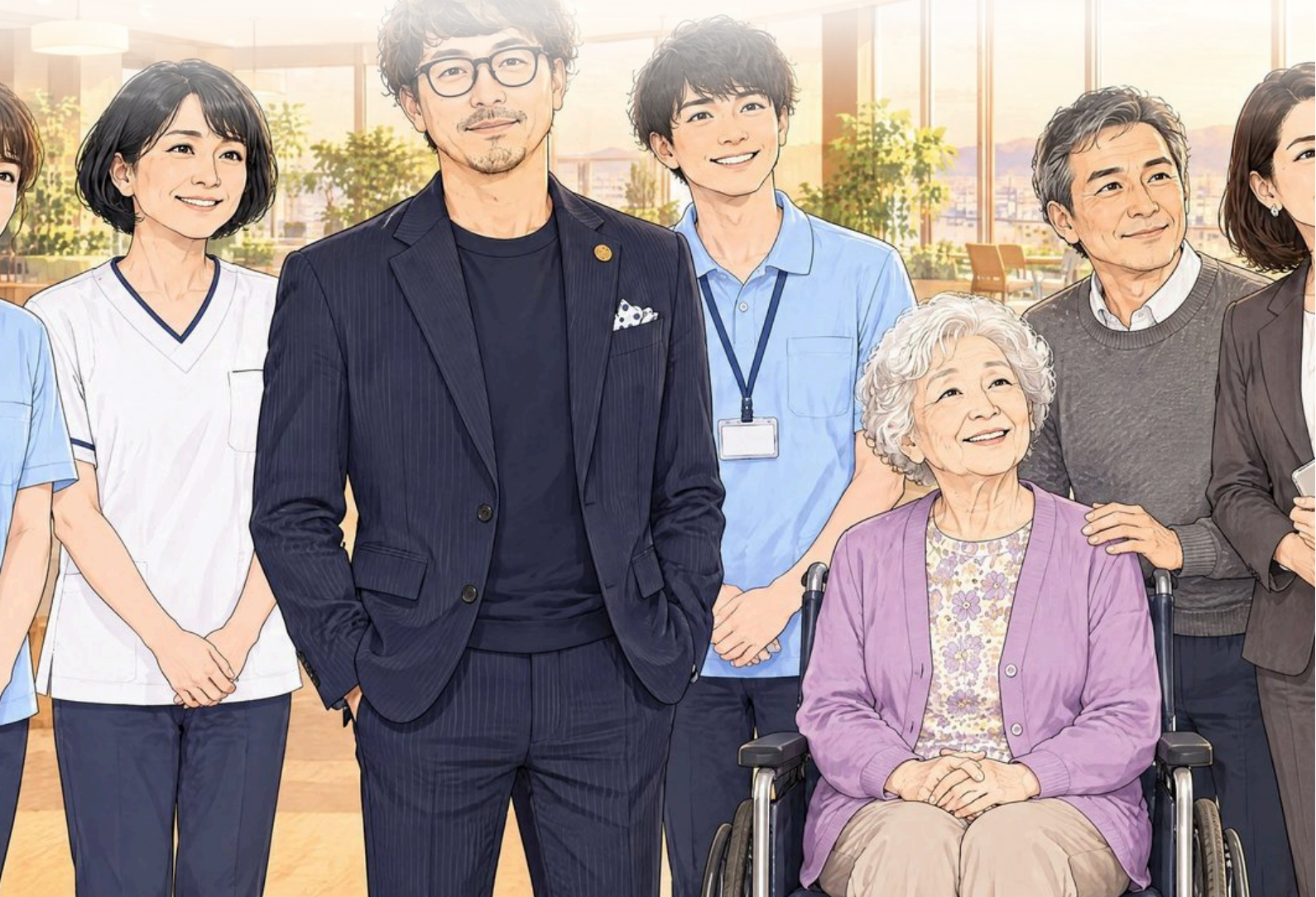
価値を生むのは、人と事業を動かす力。

WHAT 何をやるべきかを決める PEOPLE 人を動かす RESULT 結果に責任を持つ

A large, detailed illustration of the man's face and upper torso, looking slightly to the side. The background is a solid dark blue.

人に優しくなれる社会を実現する。

医療的ケアから始まる挑戦を、2040年の介護インフラへ。



ともに、介護の未来をつくる
仲間・パートナーを募集しています。

介護・医療の現場で働く方、不動産・建設・介護・医療・AI・金融の事業パートナーの方へ。



Presence Medical
株式会社プレゼンス・メディカル

株式会社プレゼンス・メディカル

創業会長兼CEO 今西 和晃

<https://presence-m.com/>



【区分】実績＝資料・公式サイトに記載の既存事業／開発中・構想＝IMPACT CROSS・AI-BPRのサービス展開・なっちゃんAI・なっちゃんOS／将来構想＝PRESENCE STANDARD・直営1号施設・全国展開・海外展開・資本戦略。将来構想の内容は、法令・許認可・安全性・事業性の検証により変わる可能性があります。本作は「PRESENCE 2040 VISION（資本戦略追加 10ページ版）」をもとに制作しました。今西和晃のセリフは資料をもとに脚色したもので、本人の実際の発言ではありません。今西和晃以外の登場人物はすべて架空です。数値の確認時点は各ページに記載しています。 ©株式会社プレゼンス・メディカル